

平成22年度第4回看護学部教授会議事録

開催場所	413講義室	開催日時	平成22年9月8日(水) 16:00~18:15
出席者	(学部長) 桑名佳代子 (教授) 安齋由貴子, 伊藤ひろ子, 遠藤芳子, 小野幸子, 塩野悦子, 関戸好子, 武田淳子, 徳永恵子, 長澤治夫, 中塚晴夫, 原玲子, 真覚健, 峯岸直子, 宮林幸江, 山田嘉明, 弓谷行宏, 吉田俊子 (准教授) 桂晶子, 荻部明彦, 北岡晃子, 佐々木久美子, 菅原よしえ, 高橋和子, 高橋方子, 只浦寛子, 山岸利次 (講師) 竹本由香里 (助教) 阿部智美, 井口巴, 岩岡美樹, 大池真樹, 大沼珠美, 小野寿江, 小山妙子, 河原畑尚美, 佐藤ゆか, 澤口利絵, 菅原亜希, 鈴木敦子, 田中美江, 長岡芳久, 西村亜希子, 橋本翼, 平尾由美子, 松尾尚美, 山田志枝 (54名中出席者47名) 事務部学務課 小山課長, 佐々木GL, 大津主任主査, 小松主査, 吉川主査		
欠席者	MargaretChang, 萩原潤, 阿部幹佳, 鹿野裕美, 小松幸恵, 相馬衣都, 渡邊志乃	(職位別50音順, 敬称略)	
署名人	桑名佳代子, 峯岸直子		
議 事 内 容			
<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 議事録署名人の指名について 本教授会議事録署名人として, 峯岸直子教授が指名された。</p> <p>(2) 審議事項</p> <p>① 平成22年度前期成績判定について 資料に基づき, 塩野教務委員長から説明があり, 審議の結果原案のとおり承認され, 前期の成績が確定した。 なお, 合格に達しなかった学生が多かった科目の授業方法や再履修科目が不可であった学生の履修状況等について, 各担当教員から説明がなされた。 また, 再履修科目が不可であった3年生について, 後期の領域別実習を履修できることが確認され, 実習関係教員への協力が呼びかけられた。</p> <p>② 学生の懲戒等について 平成22年度前期の1年生の授業において出席カードの代筆があったことについて, 事実調査結果の報告がなされた上で, 代筆に直接関係した3名を学則第36条に基づく処分の対象とすること及び量定を「学部長から本人への口頭厳重注意」とし, 教育研究審議会に上申することについて諮られ, 審議の結果原案のとおり承認された。</p> <p>③ 人事について 桑名学部長から次のことが諮られ, 審議の結果原案どおり承認された。 ・現在の9つの看護専門領域を4分野にグループ編成すること。 ・各領域名に「学」を付すとともに, 「看護マネジメント」を「看護管理学」に変更すること。 ・平成23年4月から採用が決定している〇〇〇〇を基礎看護学領域の所属とすること。 ・昇任人事について, 現在講師職にある教員は, 講師職を置かないこととする本学の方針に沿って全員准教授に昇任する方針とすること及び教授への昇任については本人からの申請とすること。 ・看護援助技術論等及びCNS(感染看護)科目を担当する教員として基盤看護学分野(基礎看護学領域)の准教授1名を公募予定とすること。 ・公衆衛生学, 在宅ケア論等を担当する教員として広域看護学分野(在宅看護学領域)の教授又は准教授1名を公募予定とすること。 ・教員定数に関して地域連携センターや他学部との調整が必要であるが, 老年看護援助論, 緩和ケア等を担当する教員が必要であり, 成熟期看護学分野(老年看護学領域)に准教授1名を公募予定とすること。 なお, 専門基礎科目である地域健康学(新カリキュラムでは公衆衛生学に読替)を地域看護学領域の教員が担当してきたにも拘らず在宅看護学領域として公募すること, 領域間における教員人数と担当科目数のバランス及び地域訪問実習方法が具体化していないこと等から, 広域看護学分野の教員採用について反対の意見があったが, 公衆衛生学, 疫学等, 地域看護学領域で担当してきた専門基礎科目については一部見直しを行っていること, 新カリキュラム移行により, 今後在宅看護学領域が担当する科目数が増加することや実習についても本格的に実施されることから領域間においてアンバランスであるとは言えないこと, 各領域の教員数は固定的なものではなく, カリキュラムの変更等に伴い柔軟に対応するものであること, 地域訪問実習については, 広域看護学分野とし</p>			

て地域看護学領域と在宅看護学領域で連携し、今後具体的な内容を詰めていく必要があること等の説明や意見があった。

また、専門基礎科目である保健福祉行政論を将来的にも地域看護領域の教員が行うか否かという質問に対し、桑名学部長から保健師課程の在り方等、近々に検討しなければならない課題があり、それらも絡め検討すべきことである旨回答がなされた。さらに在宅看護学領域の助教を公募する予定の有無について質問があり、助教の現員数が定数を満たしている現時点の状況では採用できない旨、桑名学部長から説明がなされた。

④ その他

なし

(3) 報告事項

① 教育研究審議会報告

下記教育研究審議会の審議事項及び報告事項等について、資料により報告がなされた。
第16回教育研究審議会（7月21日開催）

② 運営会議報告

前回教授会以降に開催された下記運営会議の審議事項等について、資料により報告がなされた。
第8回運営会議（7月14日開催）
第9回運営会議（7月28日開催）
第10回運営会議（8月11日開催）
第11回運営会議（8月25日開催）
第12回運営会議（9月7日開催）

③ 学部各委員会報告事項

[学生委員会]

- ・ 次のとおり後期休学・復学申請があったこと及び運営会議において承認されたことの報告がなされた。
休学：1年生1名，3年生2名
復学：2年生1名，3年生3名
- ・ 後援会主催事業「保護者の集い」の概要について説明がなされ、併せて参加について周知がなされた。

[教務委員会]

- ・ 前期開講科目であった「基礎ゼミ」に関する学生と担当教員へのアンケート結果について報告がなされた。
- ・ 集中講義の日程が決定したこと等、後期時間割が示された。
- ・ 8月25日の理事会において決定された「平成23年度非常勤教員人件費予算割り当て方針について」により看護学部への割当額等が示されたことの報告がなされ、この方針に沿った平成23年度における看護学部非常勤講師任用予定についての説明がなされた。
- ・ 学年暦に基づく平成22年度後期授業回数資料が示された。
- ・ 後期履修登録の手引きについて、おって各教員あてにメール添付することの周知がなされた。
- ・ 後期科目等履修生について、看護学部提供科目については応募がなかったことの報告がなされた。

[キャリア開発委員会]

- ・ 保健師国家試験及び看護師国家試験の日程が決定したこと及び今後の模擬試験等の開催日程等について説明がなされた。

[入学試験委員会]

- ・ 9月16日に行われる平成23年度看護学部編入学選抜試験について、志願者数、スケジュール等の実施要領の説明がなされ、学部全員体制で対応することの確認がなされた。
- ・ 平成23年度AO入試社会人枠の一次選考結果概要等について報告がなされた。

[予算・財政委員会]

- ・ 前回の教授会で承認されたことを受けて、平成22年度改善経費により在宅看護実習に関連した片麻痺スーツの購入手続き中であることの報告がなされた。
- ・ 看護実習先の学生控室に設置している書庫の錠前修繕費として15,225円及び見学先の実習受入れに関する規程が改正されたことに伴う病態学の見学実習費として45,000円の2件を留保予算から支出することについて、運営会議において承認されたことの報告がなされた。

[広報委員会]

- ・ 地域連携センター主催によるシンポジウム1件、公開講座2件について、地域連携センター運営委員会の承認を得た最終的な企画提案書により概要の説明がなされた。

[実習委員会]

- ・ 8月4日に行われた平成22年度実習指導教員研修会の概要が報告された。

- 看護実習中における携帯電話を使用した災害訓練が9月1日に行われたことの報告がなされた。また、11月1日に次回訓練を行うこと及び携帯電話に登録された領域・教員名等を各自必要に応じ修正することの周知がなされた。

④ タンペレ応用科学大学との交流について

吉田副学部長及び長澤副学部長から、9月1日から3日までに行われたフィンランドのタンペレ応用科学大学との国際交流について、次のとおり報告がなされた。

- 本学とタンペレ応用科学大学との協定が締結されたこと。
 - 学都仙台コンソーシアムとユニポリ・タンペレとで協定が締結されたこと。
 - タンペレ応用科学大学の副学長と本学看護学部長とで実践看護英語演習の実施に関する補足協定を締結したこと。
- なお、細部の実施内容については、今後Eメールにより協議すること。
- 9月3日に行われた国際シンポジウムの概要。
 - 平成24年度に本学において国際シンポジウムを開催することで今後調整することとなったこと。
 - その他、タンペレ応用科学大学の概要等。

(4) その他

- エコキャンパス推進会議構成員である中塚晴夫教授から、紙類の回収プロジェクト実施についての周知と協力の呼びかけがなされた。

以上

議事録署名人

氏名 桑名 佳代子 印

氏名 峯岸 直子 印